

薬学 科

「大栗研究室」

PICK UP
LAB!

ガン治療に使われる抗体医薬品を、 安価で大量につくる研究。

ガン治療などに使われる「抗体医薬品」は、ウイルスなどの異物をリンパ球が攻撃する人の免疫機能を応用したものです。治療効果が高く副作用も軽減されるのですが、高い技術と「コストが必要」です。そこで、抗体分子を小さくした「Fab」という分子を使って、安価で大量につくるための研究を行っています。多くの人々の命を救い、健康の維持へと貢献できることが期待されます。

糸瀬さん 薬学科5年生 福岡県/東筑高校出身

ガン治療への実用化を 目指せる研究にやりがい

ガン治療に興味があり、ガンなどの難治性疾患に高い効果のある抗体医薬品の作用を知りたくて研究を始めました。小さい抗体Fab、爆弾をつけて癌細胞を死滅させるタンパク質開発を行っています。遺伝子操作する実験は、ミクロ世界なので集中力が必要ですが、ガン治療に直結する分野の研究なので、やりがいもとても大きいです。

